※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和５年度　社会科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共　（数研出版）						
副教材等	スタディノート公共（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、現代の日本社会は、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えており、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していく力が求められている。
こうした社会の中で生きていくために必要な知識を身につけ、主体的に考え行動する力を養ってほしい。

２　学習の到達目標

進化した人工知能（ＡＩ）が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化される ＩｏＴ が広がったりするなど、Society5.0 とも呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測もなされている。また、多様な事象が複雑さを増し、変化の先行きを見通すことが一層難しくなってきている。
これらの社会情勢を踏まえ、以下の学習の到達目標を設定する。

【a】　現代の諸課題の基礎的な知識を身に着け、倫理的主体として活動するうえで必要となる情報を適切にまとめる技能を身につける。

【b】　公共的な空間における基本的原理を活用し、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【c】　よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決するために「もっと学びたい」と思う態度を涵養する。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち	1. 青年期と自己形成 2. 人間としての自覚 3. 日本人としての自覚	a:青年期の意義や課題、世界の宗教について理解している。 b:生きることと考えることとはどういうことかを思考し、自らの考えを表現する。 c:自我の確立と自己形成について興味を持つ。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	1. 西洋近現代の思想 2. 現代の諸課題と倫理	a:近代哲学・科学の考え方を理解する。 b:地球環境問題の解決方法について考え、表現する。 c:西洋近現代の思想と現代の諸課題について興味を持つ。			
2学期	公共的な空間における基本原理	1. 民主社会の基本原理 2. 日本社会の基本原理	a:民主政治のあり方と基本的人権の諸課題を理解する。 b:日本国憲法の人権規定について理解し、現実にはどのような課題があり、解決を行っていくかを表現する。 c:民主主義の理想と問題点、基本的人権について興味を持つ。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述
	現代の民主政治と政治参加の意義	1. 日本の政治機構 2. 政治参加と民主政治の課題	a:日本の政治機構、政治制度について理解する。 b:日本の政治制度が抱える問題点や地方自治のあり方について、自らの考えを表現する。 c:18 歳で選挙権を得られることを踏まえ、日本の政治に関して興味を持つ。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	現代の経済社会と経済活動のあり方	1. 経済の仕組みと市場機構 2. 財政と金融 3. 日本経済の発展と変化 4. 豊かな生活と福祉の実現	a:資本主義経済と社会主義経済の思想の違いを理解し、現代の経済システムを理解する。 b:現代の日本経済、世界経済が抱える課題について考え、自らの言葉で表現する。 c:持続可能な発展を行うために、経済思想を理解し、現代経済について興味を持つ。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述
	国際社会の動向と日本の役割	1. 国際政治の動向 2. 国際政治の課題と日本の役割 3. 国際経済の動向と国際協力	a:第1次世界大戦以降の国際政治と国際経済の仕組みについて、理解する。 b:日本の安全保障の将来と、国際経済の中においての日本経済について考え、自らの考えをまとめ表現する。 c:現代の国際政治、国際経済について興味を持つ。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度